

# 新年度予算編成

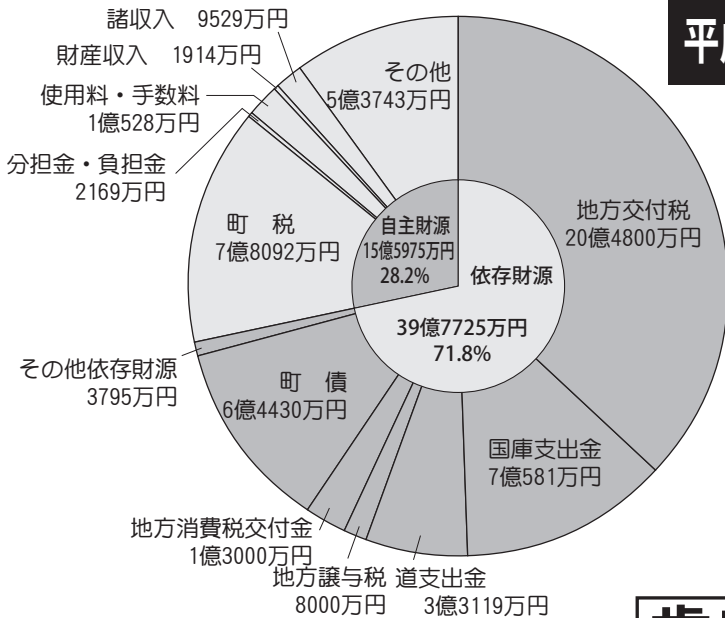
定例会2日目の3月10日、新年度予算についての提案説明を受けました。  
 審査は、議員全員による予算審査特別委員会を設置し、15日に、予算計上されている事業などについての質疑を行い、原案のとおり可決しました。

平成29年度 各会計予算額

会計名	平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	増減	対前年伸長率
一般会計	55億3700万円	58億7200万円	△3億3500万円	△5.7%
特別会計				
国民健康保険	9億8535万円	9億8223万円	312万円	0.3%
後期高齢者医療	8413万円	8372万円	41万円	0.5%
介護保険	7億7707万円	7億8198万円	△491万円	△0.6%
公共下水道	1億9866万円	2億5264万円	△5398万円	△21.4%
公平委員会	62万円	47万円	15万円	31.9%
計	20億4583万円	21億104万円	△5521万円	△2.6%
企業会計				
水道事業				
収益的支出	1億7180万円	1億7180万円	0万円	0.0%
資本的支出	1億2755万円	1億218万円	2537万円	24.8%
計	2億9935万円	2億7398万円	2537万円	9.3%
合計	78億8218万円	82億4702万円	△3億6484万円	△4.4%

## 平成29年度一般会計歳入歳出構成状況

### 歳入



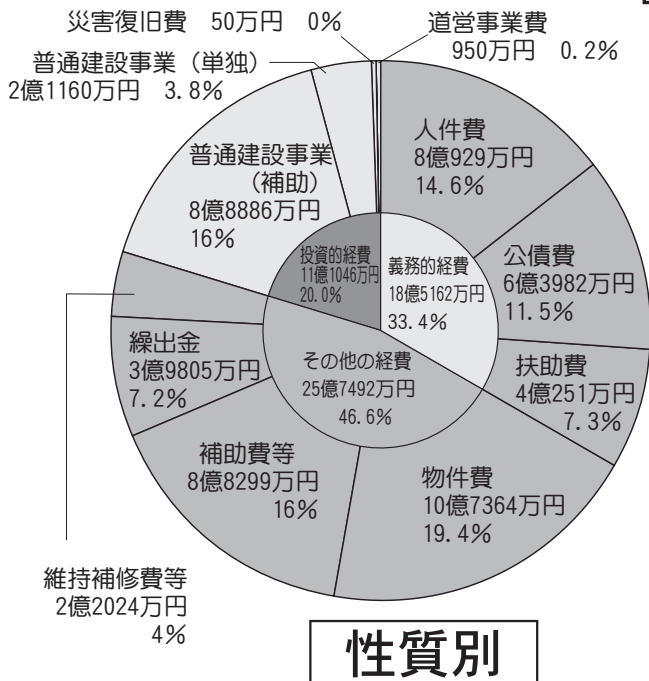
#### 自主財源…

町が自主的に収入とすることができるお金  
 左のグラフ中「その他」は、寄付金、繰入金、繰越金の合計です。

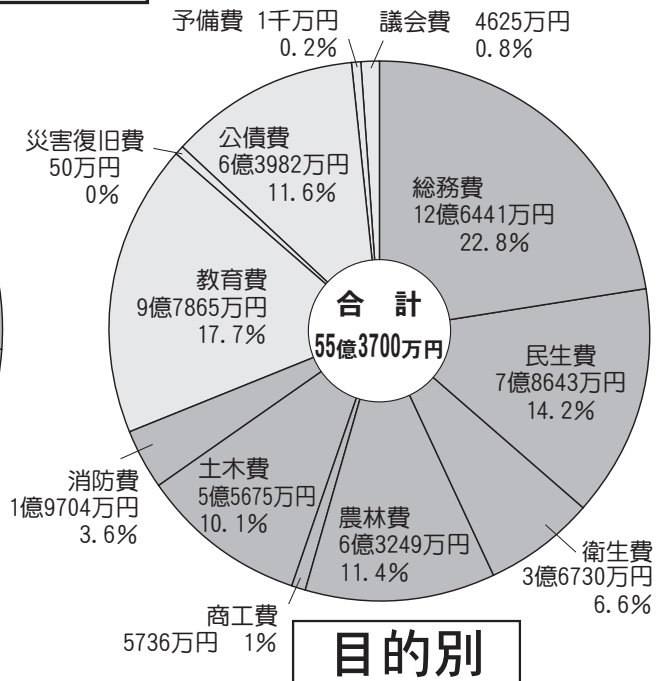
#### 依存財源…

国・道から交付、補助されるお金や借金(町債)  
 左のグラフ中「その他依存財源」は、利子割交付金、配当割交付金、ゴルフ場利用税交付金など少額の交付金の合計です。

### 歳出



### 性質別



### 目的別

# 「あったかすなまち」に向け

担い手研修センター整備に 6840万円

## 主な事業（太字は新規・拡充事業）

### 農林業・商工業の振興

担い手研修センター整備、担い手応援資金、新規就農者確保、農業ヘルパー、北成地区簡易給水施設整備、「オオカミの桃」原料作付奨励、鷹栖町産米消費拡大、地域おこし協力隊活動、新規開業者支援、販路拡大促進支援、企業立地の推進など

### 地域福祉の充実

相談体制・見守り活動の整備、幼稚園型一時預かり、保育園等第2子以降保育料等軽減、認定こども園施設型給付費等支給、鷹栖保育園0歳児保育室冷房設置、保育園の給食地産地消の日、サービス付き高齢者向け住宅家賃助成、介護予防フォーラム開催、生活支援コーディネーターの配置、見守りサポートシステムの普及など

### 学校教育の充実

フッ化物洗口の実施、小学校インターホン設置、鷹栖小学校外壁改修、児童生徒用図書の実施、学習支援員・特別支援教育支援員の配置、鷹栖地区住民センター改築、中央・北成地区住民センタートイレ改修、メロディーホール袖幕更新、文化財保護団体活動支援など

### 地域間交流

姉妹都市友好訪問団派遣・受入、心のかけはしプロジェクトなど

### 生活環境の向上・充実

未舗装町道舗装工事、町道維持管理、橋梁長寿命化対策、小型ロータリー車購入、水道管布設替え（14号道路、北野東5-1）、北野排水区雨水計画見直し、町営バス更新、メロディー団地R4改修、移住定住の促進、パレットヒルズ整備、ごみ収集車更新、可燃ごみ・粗大ゴミの焼却委託など、

### 安心・安全の推進

街路灯LED化、第2分団消防自動車更新など

### 【農業】

Q. 青野委員 農業ビジョンの28年度から29年度の第1期について進捗状況は。

A. 産業振興課長 調査研究も含め、半分以上は進んでいると認識しています。

Q. 辻本委員 担い手研修センターはまだ全体の形が出ていない。今回の6840万円で完成するののか。また、毎年かかる費用は。

A. 産業振興課長 29年度予算で全体の施設整備は

終わらせません。ランニングコストは人件費で1000万円弱で、光熱水費もかかってきますので、経費の縮減に努めていきます。

Q. 辻本委員 これだけの費用をかけて、人を集められるのか。費用対効果は考えているのか。

A. 産業振興課長 本州や札幌の新農業人フェアに積極的に出向いて、鷹栖の農業のPRをしながら研修生の確保もしていきます。施設を作った無駄に終わることだけは避けたいと思う

ています。

Q. 舟根委員 担い手研修センターは当初、町が事業主体となるが、将来的には振興公社が担うのがふさわしいのでは。

A. 産業振興課長 運営主体については今後、関係機関とも協議していきたいと考えています。

Q. 青野委員 26年から始まった国営緊急農地再編事業は当初の計画が繰り延ばされているが、予定通り31年に完了するののか。

A. 産業振興課長 29年度予算分も含めると半年が完了となります。予定の変更は現在のところありませんが、秋ごろに30年度の事業量の見込みが分かり先行きが見えてくると思うので、今後については関係機関と相談しながら進めます。

## 6月から、ごみの分別を一部変更

埋立てゴミを減らして最終処分場を延命

**Q. 大石委員** 農産加工施設（四季の里）の加工指導員の賃金が減っている理由は。

**A. 産業振興課長** 29年度から地域おこし協力隊の方に指導業務を担ってもらうためです。

**Q. 大石委員** 地域おこし協力隊は農産と観光で1名ずつ募集しているが、状況は。

**A. 産業振興課長** 観光の方は面接した結果、雇用する予定です。農産の方は2月末までの募集期間に応募がなかったため、延長して募集を受け付けています。

**Q. 大石委員** エゾシカの夏場の駆除についての考えは。

**A. 産業振興課長** 駆除依頼があった場合は猟友会に夏場でも対応してもらい、施設で解体処理しています。猟友会内部の取決めには町として特段言うことはな

いと考えています。

**【ごみ問題】**

**Q. 舟根委員** ここ数年のごみ処理の状況は。

**A. 町民課長** 最終処分場の埋立量は、平成21年度で850トンあったものが、27年度で411トン、28年度の実績は300トン台になる見込みです。

6月からごみの分別方法を変えますが、子供にも分かってもらえるよう周知徹底します。

**Q. 片山委員** 毎月のごみ収集量や最終処分場の残容量を広報などで知らせることで、意識向上につながるのではないかと。

**A. 町民課長** 毎月の数値の報告では、なかなか分かかってもらえないと考えますが、効果的な周知につい

ては検討します。

**Q. 辻本委員** 最終処分場の残容量がどれくらいになれば次のステップについて考えるのか。

**A. 町民課長** ごみの分別の変更の効果で埋立量が激減するため、現在の最終処分場を平成40年ぐらいまで使っていける予定です。その間に考えていきます。

**Q. 辻本委員** 災害ごみが出た場合には、それで間に合うのか。

**A. 町民課長** 災害ごみの取扱いについては、本町でも計画書を作成していま



町ではごみ処理の体験を受付けています

す。実際には、状況に応じ、管内中央部のごみ処理場と協議しながら進めていく形になると思います。

**Q. 中村委員** 一般廃棄物処理事業費が28年度に比べ3割ぐらい増えている理由は。

**A. 町民課長** 燃やせるごみの処分を旭川から愛別に変更したため予算書上の処理料は上がっています。実際には焼却灰を最終処分場に埋め立てなくてもよくなったため、かかっている費用は同程度です。

**Q. 片山委員** ごみ分別の種類が多いという町民の声もあるが、6月からの変更により解決するのか。

**A. 町民課長** 本町は循環型計画に基づき、ごみ処理を進めています。試験ごみも含めると、分別の数は現在と変わりません。



## 防災関係機関の連携を検討

**Q. 斉藤委員** 回収した

資源ごみが何に使われているのか分かると意識が変わるのではないかと。パンフレットなどで周知する考えは。

**A. 町民課長** 町民のみならずに取り組んでもらえるよう努力したいと考えています。

**【防災】**

**Q. 青野委員** 防災対策

として職員用のライフジャケットと蛍光ベストの購入という軽微な整備が予定されているが、全体的な整備状況は。

**A. 総務企画課長** 他に庁舎等維持管理事業の中で庁舎の高圧受電設備整備工事を予定しています。

これにより備品の整備は一段落となります。

**Q. 青野委員** 発電機な

どの機械は定期的に点検しているのか。

**A. 総務企画課長** 訓練

などを通して、また住民センターの発電機も行事などの際に確認作業を行っています。



訓練時に発電機の確認もしています

**Q. 舟根委員** 地域農業

推進会議で田んぼダムという取り組みをしているが、防災担当の総務企画課との連携はどうなっているか。

**A. 産業振興課長** 大雨のときに田んぼの水の落し口を止めて配水路に流れ込む水を抑える取り組みで、各地区の連絡体制は整備がされています。総務企画課との連携については今後具体的な検討をします。

**Q. 木下委員** 昨年の大

雨災害では現場と災害本部の連携がとれていなかった。災害時の連携について関係者を集めた会議体を持つては。様々な災害に対して、綿密なコミュニケーションも必要では。

**A. 総務企画課長** 会議体については特に考えていませんでしたが、連携は大事です。どんな形がよいのか検討していきたいと考えます。

**Q. 木下委員** 消防団員

の大型・中型免許取得に対する補助について、希望者が多い場合の対応は。

**A. 総務企画課長** 希望者が多いときは、補正予算で対応したいと思います。



第3分団の消防自動車

**Q. 青野委員** 消防団の

体制は、設備や分団の数なども含め、現状維持を考えているのか。

**A. 総務企画課長** 今の状況では各分団の活動が可能と判断しています。人数が減ってきた場合は、消防の幹部会議で検討します。

**【総務企画課】**

**Q. 中村委員** 公共サイ

ン整備事業の看板設置委託料45万円の内容は。

**A. 総務企画課長** 北斗地区住民センターとパレットヒルズへの誘導看板を予定しています。

**Q. 中村委員** 空き家等

対策協議会の構成と開催回数。

**A. 総務企画課参事** 委員15人以内で組織し、2回を予定しています。

## 公共施設の新エネルギー導入

鷹栖地区住民センターに太陽光発電

**Q. 片山委員** まちづく  
り懇談会のさらなる工夫と  
は。

**A. 総務企画課参事** 28  
年度秋の鷹栖地区と北野地  
区での懇談会で、週末の開  
催とグループに分けた座談  
会方式を試験的に取り入れ  
好評でした。これらを踏ま  
え、従来の予算の範囲内で  
さらなる工夫をしていきま  
す。



座談会方式でのまちづくり懇談会

**Q. 辻本委員** 町内会未  
加入者はどれくらいいるの  
か。未加入者への今までの  
今後の対応は。

**A. 総務企画課長** 町内  
会に加入している世帯数と  
町全体の世帯数で単純に計  
算すると加入率は85%で  
す。どうすれば未加入を防  
げるか、地区連合会長のみ  
なさんと相談しており、今  
後も検討をすすめたい。

**Q. 辻本委員** 誰が未加  
入なのか行政でも把握し、  
加入に向け動くべきでは。

**A. 総務企画課長** そ  
こまで把握するつもりはあ  
りませんが、町としても重  
要な課題だと認識している  
ので、加入に向けて支援で  
きるところは支援していき  
たいと考えます。

**Q. 片山委員** 町史編さ  
ん準備のための嘱託職員2  
名は、どのような方を考え  
ているのか。今回の町史編  
さんを通じて、若い世代へ  
の引継ぎも考えては。

**A. 副町長** 町史発行は  
29年度30年度の2力年をか  
けて行います。役場職員〇

B2名を考えています。手  
法については新年度、着手  
してから検討したいと考え  
ます。

**Q. 中家委員** 低炭素化  
促進事業費の60万円はすべ  
て住宅用太陽光発電システ  
ム設置に対する補助金との  
ことだが、再生可能エネル  
ギーについて調査研究する  
ための費用も必要ではない  
か。

**A. 総務企画課参事** そ  
のための専門の旅費や研修  
費は計上していませんが、  
別件で先進地を訪問した際  
に視察をしたり、新エネル  
ギー関係の技術者を招いた  
勉強会を開いたり、効率的  
な情報収集をしています。



住宅の太陽光発電

**Q. 中村委員** 新エネル  
ギービジョンに沿った進め  
方がされていると思うが、  
進捗状況は。

**A. 総務企画課参事** 平  
成22年に取りまとめた後  
はびねすでの廃油ボイ  
ラー、新しい鷹栖地区住民  
センターでの太陽光発電の  
導入など、各施設の様態に  
合わせ進めています。



はびねすのボイラー室

## 特定健診受診率

目標達成のため情報発信していく

**Q. 舟根委員** パレット  
ヒルズで冬のイベントの開  
催は。集客はどれくらい向  
上させる考えか。

**A. 総務企画課参事** 28

年度、冬場の小鳥の観察会  
に合わせ巣箱作りを開催し  
ました。今後もどのような  
ことができるか考えていき  
たいと思います。

入り込み数は増えすぎて  
も利用しづらくなるので、  
数だけでなく質も大事にし  
ていきたいと考えていま  
す。



パレットヒルズ冬の催事

**Q. 舟根委員** パレット  
ヒルズの費用対効果算出委  
託の内容は。今後も継続し  
ていくのか。

**A. 建設水道課長** 国の  
交付金を使いながら整備を

進めています。費用対効  
果の検証が要件になってい  
るため委託します。一度の  
みの策定です。

**Q. 青野委員** 振興補助

事業の「輝く君の夢応援事  
業」が廃止になり、全体の  
事業費もかなり減額されて  
いる理由は。

**A. 総務企画課参事** 廃

止は利用実績がゼロという  
状況が続いていたため  
です。全体の減額は、町内会  
のトイレの改修事業が要望  
のあったところについて一  
通り整備が終わったため  
です。

**Q. 青野委員** 子供たち

のいろいろなチャレンジを  
応援することは今後も必要  
では。

**A. 総務企画課参事・教**

**育長** どのような形がよい  
か課の垣根を超えて進めて  
いきます。10月くらいには  
日本ハムファイターズのO  
Bに、子供たちの指導をし

に来ていただくという企画  
もしています。

【産業】

**Q. 舟根委員** 秋の大収

穫祭の開催費が減額されて  
いる。27年度は火花があっ  
たが、夕方以降の集客のた  
め何か考えていることはあ  
るのか。

**A. 産業振興課長** 推進

会議や料理業組合との協議  
の中で要望もありましたの  
で、火花に限らず、夜の集  
客イベントを今後検討して  
いきます。

【健康福祉課】

**Q. 大石委員** 各種健康

診査で心電図、貧血、尿潜  
血検査の追加が予定されて  
いるが、何歳からを考えて  
いるのか。

**A. 健康福祉課長** 特定

健診に合わせて、30歳以上  
で考えています。

**Q. 青野委員** 特定健診

の受診率はどれくらいを目

標にしているのか。

**A. 健康福祉課長** 現在

は国保の特定健診受診率は  
約47%、後期医療は約43%  
で、国からは60%を目標に  
するように指導されています。

**Q. 青野委員** 受診率を

公表し、個々の意識を改革  
することも大事。町民課と  
健康福祉課の連携について  
の考えは。

**A. 町民課長・健康福祉**

**課長** 広報その他の媒体  
を活用し、積極的に情報発  
信していきたいと考えま  
す。

**Q. 大石委員** 予防接種

委託料が極端に減額されて  
いる理由は。

**A. 健康福祉課長** 子宮

頸がん等の予防接種を国で  
も勧奨を見合わせている状  
況もあり、28年度の実績に  
合わせた予算になっています。



## 河川改修の早期実現を要望

### 【建設水道課】

Q. 青野委員

街路灯防

犯灯のLED化は、どこを重点的に整備する計画か。また全町的な整備の進捗状況は。

A. 建設水道課長

鷹栖

北野両市街地のワット数の高いものを中心に交換をしていきたいと考えています。

全体で約900灯弱あり、LED化率は10%に満たない状況です。

Q. 辻本委員

イブンペ

ウシ川の改修が決まらないと川に面した部分の道営基盤整備は手がつけれられない。どんな状況になっているのか。

A. 建設水道課長

北海

道から28年3月に、改修事業を実施していきたいと回答をもらっています。しかし国の事業で農業排水用として改修した経緯があり、現在移管の手続きを依頼しています。早期着手に向け

て要望を進めていきたいと考えています。



川の水があふれ冠水した道路

Q. 木下委員

オサラッ

ペ川の改修は進んでいるのか。移管の話はどうか。

A. 建設水道課長

北海

道に要望をしている段階です。28年度には樹木の伐採を行ってもらっています。

移管についてはイブンペウシ川のあとになると思います。

【教育課】

Q. 中村委員

生活習慣

見直し運動推進事業の予算が大幅に減額されている理由は。

A. 教育課長

近隣の講

師にお願いすることにしたためです。新年度はクリアファイルの作成もありません。また児童生徒数も減少しています。

Q. 中村委員

小学校の

備品購入費310万円の内訳は。

A. 教育課長

図書購入

費として鷹栖小45万円、北野小50万円、残りはサッカーゴールやトランポリン、校務用ソフトなどの備品購入費です。

【給食】

Q. 青野委員

年2回の

「鷹栖町産の給食の日」を増やすことはできないか。地場産の食材を食べることに意識づけについての考えは。

A. 教育課長

それ以外

の日も、お米はすべて町内産ですし、極力町内産の野菜などを使っています。鷹栖町産のものというPRも

しています。

回数増については今後検討したいと思います。

Q. 中村委員

給食の無

償化について、北海道では8町村で取り組んでいるが、考えは。

A. 町長

高齢化も進ん

でおり、今後、福祉分野での費用が増えていくことが想定されます。移住定住への効果と町全体の財政バランスを考えながら検討していかねければならない課題と認識しています。



町産給食の日

## 図書購入費1,155万円を予算化

学校、住民センターの図書環境を充実



### 【図書関連】

**Q. 中村委員** 中学校教育振興事業の教育備品購入費260万円の内訳は。

**A. 教育課長** 110万円を学校図書、150万円を授業で使う教材備品に考えています。

**Q. 中村委員** 中学校には12学級あり、この場合の図書基準冊数1万720冊であるが、29年度には何%になる予定か。少しでも早く100%にする考えは。

**A. 教育課長** 65・8%になります。平成34年までに基準冊数達成という目標が少しでも早まるよう、予算確保に向けて財政当局とも協議をしながら努力していきます。

**Q. 木下委員** 小中学校の図書はどのように選書しているのか。冊数以外の蔵書の配分比率などの要件はあるのか。

**A. 教育課長** 図書購入に当たっては、町の司書とも協力しながら、学校で選書しています。また中学校では図書委員を通じて生徒の意見も聞いており、教員や生徒が必要とする図書を購入しています。配分比率、廃棄の基準等の目安もあります。

**Q. 中村委員** 学校図書の選書をするためにも、専門家である学校司書が必要ではないか。

**A. 教育課長** まだ学校司書の配置までは考えていませんが、現状では司書教諭の資格を持った職員に選書してもらっています。

**Q. 片山委員** 図書購入費が大幅に増えているが、どのような層をターゲットにして、本を選んでいるのか。

**A. 教育課長** 特に限定はせず、現状に応じ、それぞれ冊数を増やしていく形で、購入を続けています。

### 図書カードの登録状況

19歳以下	350人	42.3%
20歳～	29人	3.5%
30歳～	80人	9.7%
40歳～	101人	12.2%
50歳～	66人	8.0%
60歳～	201人	24.3%
計	827人	100%

**Q. 片山委員** 図書カードの登録状況などに合わせて選書も必要では。農業の町として、農業関連の図書を充実させるなど特色を出していく考えは。

**A. 教育課長** 登録状況を踏まえた上で購入したいと思います。農業関連の図書についても要望があれば購入していきたいと思えます。

### 【国保特別会計】

**Q. 青野委員** 国保会計の予算で、29年度は基金からの繰り入れをしないとのことなので、国保税の負担は上がることになるのか。

**A. 町民課長** 過去7年間、基金から繰り入れしていますが、29年度は基金の積み増しも取り崩しもしない考えです。繰り入れがない分、上からざるを得ないと考えています。

**Q. 青野委員** 平成30年度の都道府県単位化に向けて、事業のあり方や保険税額のあり方について、町民に周知する必要があるのでは。どのような手立てをとっていくのか。

**A. 町民課長** まだ状況がはつきりしていない部分もあり、改定るときに話ができるようになると思えます。